

地震・雷・火事・親父 (ニュースレターのタイトルです)



ハイライト

- 8月のメンテナンスのお知らせ
- あくなき夢、安全ネットの構築
- 【速報】月次自動テストメール実施率



日頃より弊社サービスをご利用頂き、ほんとうにありがとうございます。「防火管理者様の強力な助っ人」火災一斉メールです。

● 8月のメンテナンスのお知らせ

お盆休みを利用して下記のようにメンテナンスを行いますのでお知らせします。

令和3年(2021年)8月13日(金)

10時から12時までの2時間

「火災一斉メール」と「見まもりビーコン」の全システムが停止します。ご迷惑をおかけしますがご協力の程、お願い申し上げます。

● あくなき夢、「安全ネットの構築」

6月24日の警察庁の発表によれば、2020年中に認知症やその疑いで**行方不明になり警察に届出があったのが1万7565人**だったことが警察庁の集計で分かりました。12年の統計開始から毎年、過去最多を更新し8年で1.83倍に増加。

発見までの期間は、受理当日が74%、1週間以内に見つかったのが99.3%。**行方不明中に事故に遭うなどして527人が死亡**しました。

事務局では、毎年繰り返される悲劇にシステム運用を通じ貢献できないものかと2013年に「行方不明・即対応」2014年には「見まもりビーコン」のサービスを開始いたしました。しかし、近隣住民の方の協力が必要であったり、有料のサービスであることから、いずれも残念ながら普及には至りませんでした。

「失敗は成功の母」と申します。

夢である認知症高齢者のいち早い発見・保護を目的にした「安全ネットの構築」に再度挑戦します。

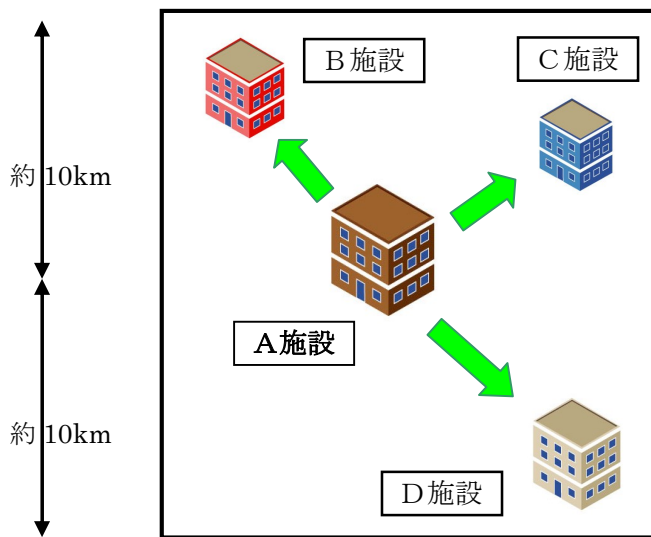
まず下の九州地図をご覧ください。



現在、火災一斉メールは全国630施設に導入いただき4万人の職員様のメールアドレス登録をいただいております。九州の場合でも、上図のように同一地域に複数導入いただいております。**施設連携による不明者情報の共有が可能な状態が出来上がりました。**

安全ネットの構築は、地域での不明者情報の迅速な共有です。A施設の利用者が行方不明になった場合、**周辺10キロメートルにある火災一斉メール導入の施設職員様にも不明者情報を配**

信しお伝えするものです。



具体的には、A施設の利用者が行方不明になった場合、

- A施設の管理者は本システムの「安全ネット：不明者情報配信」ボタンを選択します。
- サーバーは、周辺 10 キロメートル内にある本システム導入施設を自動検索し表示します。
- A施設の管理者は、不明者情報を入力し配信ボタンを押します。
- サーバーは、**周辺にあるB、C、D施設の職員様のメールアドレスへ直接不明者情報を配信しお知らせします。**

これが、「安全ネットの構築」の基本的な考えです。地域の防災無線やメールの場合、どうしても行方不明になって数時間が経過し配信される場合が多く、**是非構築を実現し地域に迅速で安全なネットワークを提供したいと思います。**もちろん標準装備とし無料でご使用いただけます。

製作には 2 ヶ月ほどかかりそうですが、土日返上で頑張ります。

● 【速報】月次自動テストメール実施率

今月から月次自動テストメールの配信を再開させていただきました。今月一日に確認しまし

たら約 10 パーセントの施設様に自動配信を「する」に設定いただきました。ありがとうございます。

お願いがあります。

格安 SIM の普及や機種変更など職員様の携帯電話環境は常に変化しています。受信状態の確認は、メール運用の基本的確認事項になりますので、是非テストメールの自動配信設定を「する」にお願いしたいと思います。

また前述の「安全ネットの構築」の肝（きも）にもなります。地域への貢献にも繋がりますのでよろしくお願い致します。

最後までお目通し頂きありがとうございます。7 月上旬は大雨の季節です。警戒万端怠りなく。

文章作成・お問い合わせ先 担当者 加藤初徳（はつのもり）でした。